



☆GIGA スクール構想に向けて

政府が進める「GIGA スクール構想」を受けて、五條東小学校でも「子どもたちが一人一台のタブレットを使って進める学習」がスタートしました。

2018年に行われた国際学習到達度調査（15歳が実施）では、「授業でのデジタル機器利用」「勉強のための家庭でのインターネット利用」の項目で、31カ国中日本は最下位でした。一方で「1人用ゲームで遊ぶ」「チャットをする」の項目では1位でした。デジタル機器を「遊びに使うもの」という認識から「学びに使うもの」という認識に変えられるように取り組みを進めています。ご家庭でもルール作りや声かけへのご協力よろしくお願ひします。



☆タブレットでこんなことをやっています！

現在本校では、新型コロナウイルス感染拡大防止等の事情により登校できなくなった場合でも、その日の授業の内容がタブレットを使って把握できることを目指して、タブレットの活用の練習に取り組んでいます。今回は、練習の様子や授業での活用場面の一部をご紹介します。

すきま時間のタブレット活用 ログイン練習・小テスト など

タブレットを使うためには、自分のIDやパスワードを入力してログインする必要があります。このログインを何も見ずに素早くできるようになることを目指して、登校後や下校前などのすきま時間を活用して繰り返し練習しています。

また、ログインするだけでなく、実際に家庭で課題に回答することを想定して、「Forms」で出された健康観察や小テストなどの課題に答える練習を1年生から行っています。



授業中でのタブレット活用 自分で調べて友達に紹介 など

主に高学年では、授業の中でタブレットを活用する学習が始まっています。4年生は、県内の特色ある市町村について分担して調べて、「ロイロノート」を使って友達に紹介する学習を行っています。6年生は、平和学習で調べた内容を下級生に伝えるために「スライド」を作成しています。スライドは同じファイルを複数人で同時に編集できるため、作業を分担して発表資料を作成しています。また、6年生は学力テストにもタブレットを使って取り組みました。

調べ学習の場面以外にも、体育の技を撮影してチェックしたり、プログラミングやタイピングに挑戦したりするなど、様々な学習場面での活用が始まっています。



☆タブレットを利用すると〇〇が心配 Q&A

Q1、YouTubeでゲームや不適切な動画を見ないか心配です。



A、フィルタリング機能により、YouTubeでゲームや不適切な動画を視聴できないように設定されています。

Q2、子ども同士でmeetのビデオ機能通話を使って連絡を取り合わないか心配です。

A、meetのビデオ通話機能は、教師が通話を開始するまで利用できないように設定されています。

Q3、機械が思ったように動かなかった時、きちんと対処できるか心配です。

A、画面が固まるなど、何か予期せぬ事が起きたときは再起動すると直ることが多いです。子どもたちが課題作成に使う「ドキュメント・スライド・ロイロノート」は自動保存なので、電源を切ってもデータは残ります。

くわしくは12月に配布しました『タブレット活用のルール』を改めてご確認ください。